

資産運用の読み物

経済・投資のあんちょこ



VOL.5

日本株上昇の要因のひとつと言われるGPIFって？

今回の話題

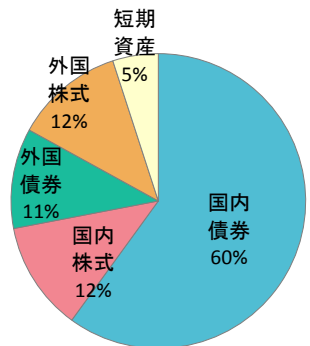
日経平均株価が15年ぶりに2万円の大台を回復するなど、このところ日本株が好調を維持しています。こうした日本株上昇の大きな要因のひとつと言われるのが、GPIFです。ではこのGPIFとは、いったい何のことでしょう？ なぜ日本株の上昇に関係があるのでしょうか？ あらためて考えます。

約18兆円が国内株式市場へ

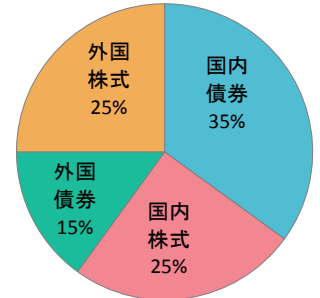
- GPIFは正式名を「年金積立金管理運用独立行政法人 (Government Pension Investment Fund)」といい、厚生年金と国民年金の積立金を管理・運用する厚生労働省所轄の機関です。運用資産は約137兆円と世界最大で、外国のほかの年金基金と比べても群を抜く規模を誇ります。
- このGPIFの資産は「国内株式」「国内債券」「外国株式」「外国債券」の4つに分散投資されていますが、2014年の秋にその運用比率が見直されました。これまで全体の60%を占めていた国内債券の比率を大幅に減らす一方で、国内株式の比率を12%から25%に13%も高めることになったのです。
- 国内株式の比率を13%もふやすということは、単純計算で総額約18兆円もの資金が少しずつ国内株式市場に流入し続ける目算です。こうしたことも含めて、今後も国内株式の上昇が期待できると考えられます。

■ GPIFの基本的資産構成割合

変更前



変更後



Point

GPIFとは、厚生年金や国民年金の積立金を管理・運用する国の機関です。

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。